

せつなみの 二つの顔

FOR ADULT ONLY 成人向

海野螢個人誌

HOTARU UNNO PRESENTS





ピーナッツ
ハート(アーバン)
!!

ピーナッツ
ハートは
も愛
あういの
レッスン
キュア
ドリーチ
!!

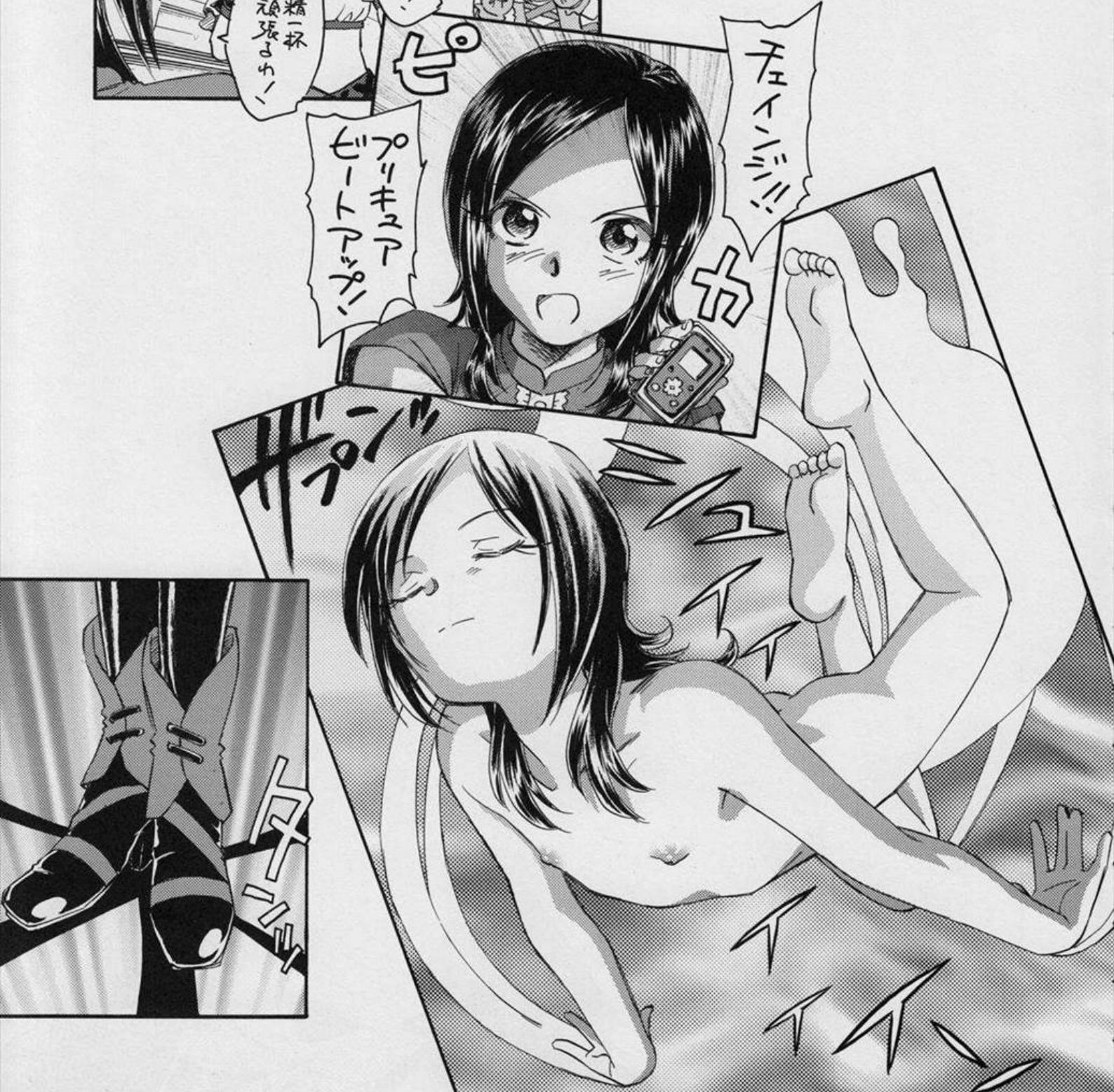
ヒローハート
と希望の
キュアバーベン
!!

ブルーハート
希望のフレスン
キュアバーベン
!!

スマッシュ
オーバー!!

我だなは
キュアアイースト!!

アリキュアリーグター
ラブ様がしモビ!!





うるさい!!

ぬ無い
：祝いがけんじ
いそんじや

ヒーヒ



おお、
おぼえ
る!!

ユウ

ボロ









僕間は
ああ云つたけど
やうぱりおひ

ゴロ-

だっこせつなは
せつなじやへ、

イース?
パッショント
東せつな?

このせつな、
名前だっこ本のじや
ないかも…。

一体私は
誰なの?

か
いえ
せうな

うら
ブミ?

ハロハロ

?





ねえせつみ
せつまどうして
戦いのソースで
戦うのです。



おれが幸せいふた?

おれに
幸せいふか?!

ごモナ、
イース特だ?
目的だ?
福強こだへは
同じござしま?

さりや人と
不幸にするのは
悪いことだけと
洗脳されてたんだもん
仕方ないじゃん。

精一様
お福強
ることが
せつじの幸せ
などやながる?

おれの幸せ...? おれの幸せ...? おれの幸せ...?

せつめは「おごも
こだわりすぎ
るへだよ。

黒だらうと
赤だらうと
全部含みます
みたい。大アキラ
せつねだよ、

ほう、せつねも
幸せケット
だよ、

ハハ

え

へ

う
フ

ん
て

ふ
は

チ
2

ホ
ン

ラ
フ
…

6

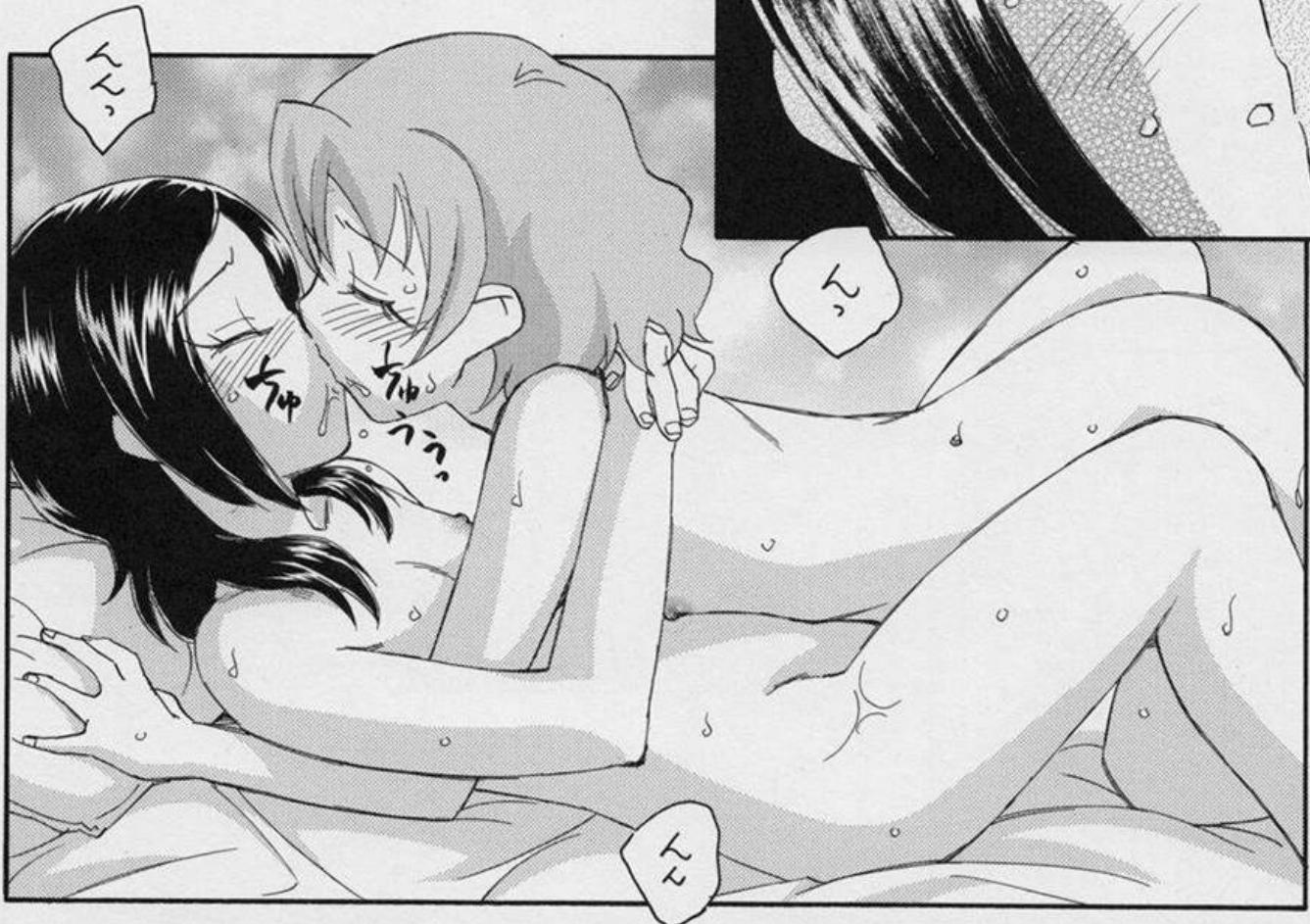
ポ
キ

ポ
キ

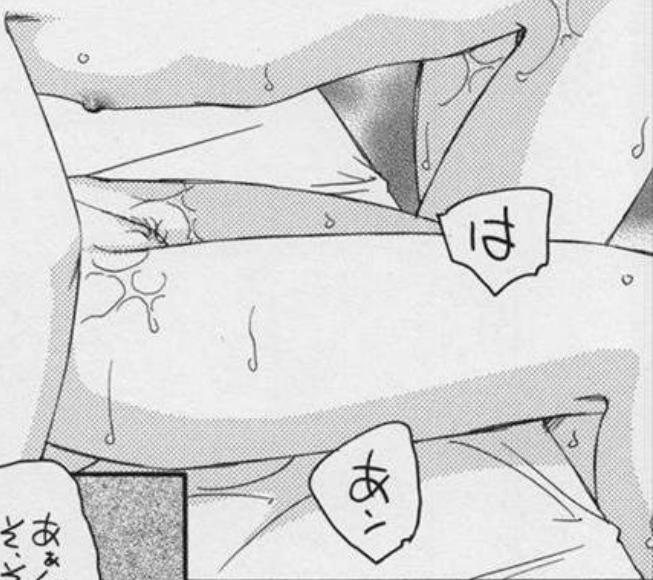
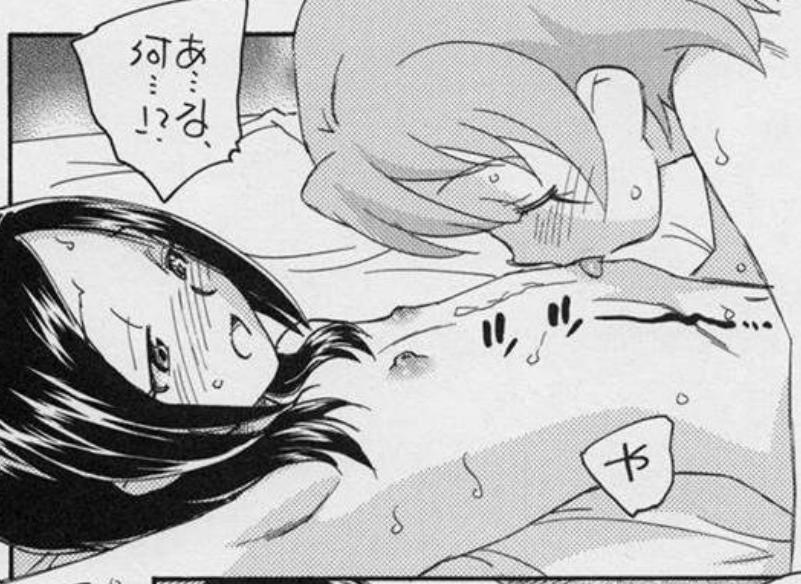
ポ
キ

あたし…せつねの
幸せのチカラい
したへんだ。





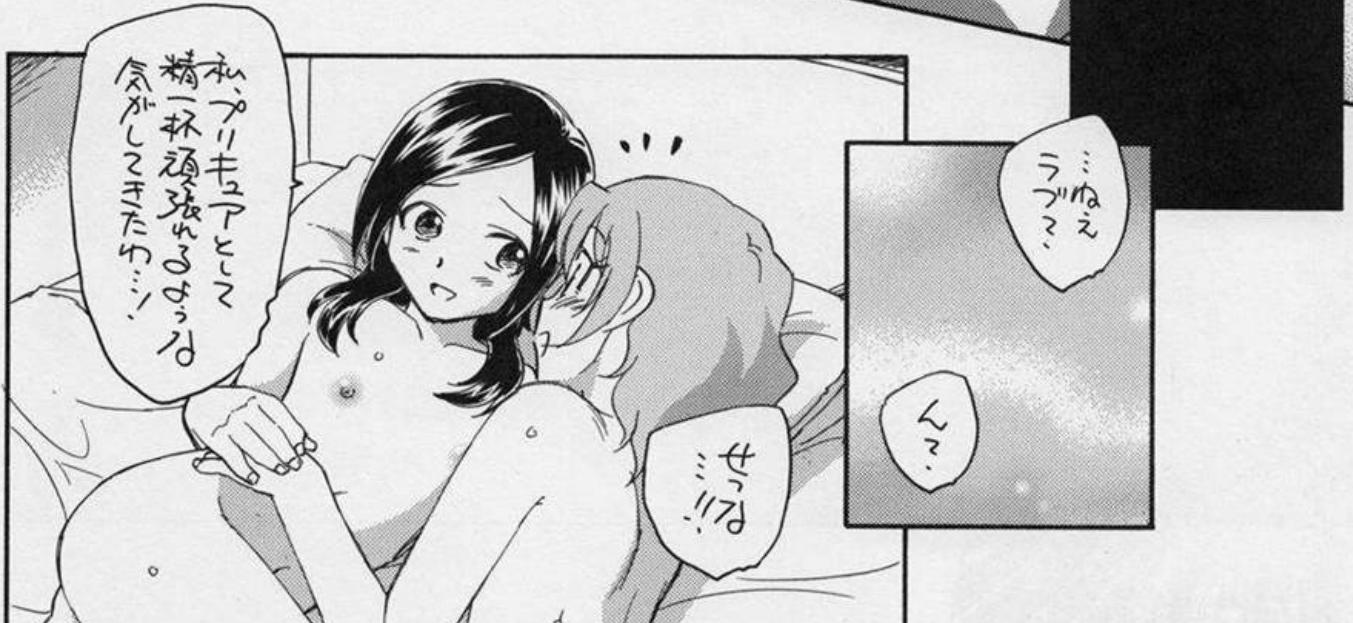














ティアス!!

ピチュア

アリタリハ
アリキュア!!

+2



終

せつなの
三つの歴史



ども、海野です。

とゆーワケでラブ×せつな本ですよ～(=ω')！

いや～フレプリがここまで百合アニメになろうとは一体誰が予想してたでしょうか？

いや自分がしてました(笑)。

ちょうど夏コミの申し込み〆切って毎年毎年プリキュアの第一話放映直後なんですね。

いつもその段階で第一話だけ見て半年後を予想しつつカタログカットを描くんですが、

今回フレプリ列でピーチ×イース描いてるのウチだけですよ(=ω')！

いやシリーズ構成が前川淳だったんで四人目はせつなが来るなとは思ってたんですよ。

なにしろ前川淳ったら『マジレンジャー』だからさまで父親な、敵のウルザードが
やっぱり父だった、ってなベタベタな展開をやってた人ですし、

今回もイース様が寝返るだろうなと思ってたら、案の定予想が当たりまして。

たださすがにラブと同棲wするところまでは予想出来ませんでしたが(笑)。

実のところ始まった当初はちょっと心配だったんですよね。

今までのプリキュアとプロデューサー始め色々とスタッフが変わってましたし。

ただまあ雰囲気が変わったっていいたらSSから5になった時も大分変わりましたし、

それはそれでまあアリかなとは思うんですが、個人的に残念だったのは

今回から音楽が佐藤直紀じゃなくなっちゃったことですねえ。

まあ佐藤直紀も『三丁目の夕日』以降売れっ子になっちゃって
こういうアニメとかやるもの難しくなっちゃったのかも知れませんが。

でも内容的にはちゃんとフレッシュならではの世界観を作つてそれも杞憂でした。

更にそれを補つて余りあるのがイース様…というかせつなの存在！

いやせつなは貧乳ショートじゃないじゃん、という意見もあるでしょうが
ショートカットはともかく、貧乳はそう描けばいいだけですし(笑)。

巨乳イース様がお好みの方、あしからずです。

いやそもそもそういう人はウチの本なんか買わないか(笑)。

てな感じでフレプリ始まった当初からイース様にツバつけてたんですが、

最近はもう小松由佳分補給の為に『朝ズバ！』まで見るようになつてしましました(笑)。

にしてもこの数ヶ月、ここまでずっと怒濤のせつなのターンになるとは予想以上でしたよ。

そのお陰でこの夏コミの入稿〆切がちょうど四人目誕生編が終わるかどうかって

微妙な時期になっちゃって、果たして間に合うのか結構はらはらしてたんですが
なんとかこうして無事パッションも登場させられましたよ。

ただこのネームを切ったのが例の24話を見た直後だったもんでして

その影響でせつながやたら凹みキャラになっちゃってます。

ところが作画作業中にその後の合宿回とかオードリー回とか見てたら

なんだかツンデレだわ天然だわ、いや～この回見てからネーム切つたら

この本のアプローチももっと変わってたろうに、と後悔しつつもう後の祭り…(=ω=)

やはりキャラをもっと自分の中で熟成させてから描きたかったですねえ。

っていうかこの二ヶ月の間に高飛車から凹み、ツンデレ、天然へと

キャラの幅ありすぎですよ、せつなさん！(笑)

このリベンジは次の冬コミでは非！(=ω')！(予定は未定w)

てなカンジで海野螢クンでした♪

せつなのかの二つの顔

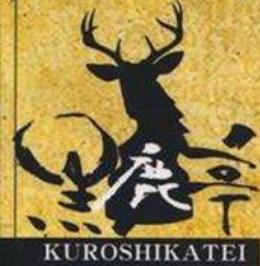
2009年8月16日発行

著者：海野螢
unno-h@nifty.ne.jp
<http://homepage2.nifty.com/unnoya/>

発行：黒鹿亭

印刷：パワープリント

THE TWO FACES OF SETSUNA



KUROSHIKATEI